



総合学科家政科学系列 シルクガールズプロジェクト

日本遺産のイベントで鶴岡駅と庄内空港に シルクのドレス展示中

2月13日は「日本遺産の日」

「ウイーク」イベント始まる

日本遺産の日(13日)に合わせた鶴岡市の「日本遺産ウイーク2020 in 鶴岡」が8日、庄内空港とJR鶴岡駅でのPR展示で始まった。16日までの期間中、同市が有する出羽三山生まれかわりの旅、サムライゆかりのシルク、北前船寄港地船主集落の3つの日本遺産の構成文化財の関連施設が開放されるほか、パネル展示などを通して3つの日本遺産のまち・鶴岡を発信する。

文化庁などが定めた日本遺産の日は、今年から設けられた。「(1)ほんい(1)さん(3)」の語呂合わせで制定。東京都内で11-13日に全国の日本遺産(83件)をPRするイベントが繰り広げられる。



庄内空港ビル2階に展示されたシルクドレス

鶴岡市は3つの日本遺産にまつわる物語を紹介し市民や観光客に親しんでもらおうと、関連団体や構成文化財となっている施設の関係者と連携し、「ウイーク」に設定した。

庄内空港では16日まで、各日本遺産の紹介ポスター、サムライゆかりのシルク関連のパネルを展示。出発ロビーがある同空港2階のスペースには、サムライゆかりのシルクの認定につながった鶴岡中央高シルクガールズプロジェクトのコーナーを設け、シルクドレス3着を展示した。空港利用者

が、鶴岡シルクなどを素材に高校生たちが製作した完成度の高いドレスに見入る姿があった。

11日には出羽三山生まれかわりの旅の情報コーナーがあるいは文化記念館、13日には松ヶ岡開墾場一番蚕室の松ヶ岡開墾記念館がそれぞれ無料開放される。松ヶ岡では11-16日を「冬まつりウイーク」として、シルク生地やスカートの販売、「竹あかり点灯」、新酒を楽しむ会、甲冑舞台戦、大蚕室ライトアップ・カフェなどのイベントを繰り広げる。

北前船寄港地関連では、善寶寺五百羅漢堂が10-16日に特別拝観を実施。先着30人が拝観料無料(31人目以降は500円)となり、来山記念で漁旗デザインのカリアファイル配布、五百羅漢堂限定御朱印販売を行う。加茂水族館のレストラ「魚匠ダイニング沖海月」では10-16日に北前船にちなんだ創作料理を提供する。

「3つの日本遺産のまち・鶴岡を発信
関連施設開放やパネル展示」